

支援部だより



令和元年9月10日
鳥取県立鳥取養護学校
発行 キャリア教育部・支援部

同窓会

8月3日（土）、同窓会が開催されました。同窓生17名に保護者、旧職員、現職員を合わせ、総勢45名が参加しました。はじめに、自立活動室に集合して校歌斉唱、自己紹介、会計報告等の総会を行いました。次に「ボッチャ」「リラックス」「ゲーム」の3グループに分かれての自由活動をしました。何をして遊ぶのか話し合っ決めて、カラオケを思いっきり歌って盛り上がったりして、それぞれのグループで楽しい時間を過ごしました。最後は全員でふれあいダンスをして同窓会が締めくくられました。

久しぶりの再会に、思わず笑顔になる姿がたくさん見られた会でした。みなさんがそれぞれの場所で頑張り、とても元気そうに過ごしておられ安心しました。来年もたくさんの方に参加していただきたいと思います。
（文責：朝倉）



自由活動「ゲーム」



自由活動「ボッチャ」



ふれあいダンス

就労促進セミナー

7月9日（火）、東部地区特別支援学校5校の生徒が集まり、鳥取県立福祉人材研修センターで就労促進セミナーを開催しました。本校は、高等部1組の生徒6名が参加しました。3年生は「情報処理」の授業公開を、1年生は来場されたお客様にお茶のサービスをしました。最後に5校の生徒全員（55名）による合同合唱をしました。

参加企業は57社で、福祉・学校関係者等合わせて96名の参加がありました。「生徒が集中して作業等をしている姿に感心しました」という感想をいただきました。（文責：寺谷）



3年生 学習公開

校内人権教育研修会

7月25日（木）の夏休み初日に、職員を対象とした人権教育研修会が行われました。今年度はペアレントメンター鳥取から3名の方をお招きしての研修会でした。研修の中で、「軍手をした状態で、できるだけ早く折り紙を折って鶴をつくる」というお題が出されました。手指がうまく使えない中で必死に鶴を折っていると、「もっと早く！」「もっときれいに！」という指示が飛び交い、焦る職員たち。実際に発達障がいのある子どもたちは、このような状況に陥ることがあるということを、体験を通して改めて学びました。また、3名の方から発達障がいのあるお子さんの子育て体験もお聞きし、大変勉強になった研修会でした。（文責：影井）

